

◇ 令和6年度 指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「草津」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	18,919,842円		20,220,446円	行事の変更やコロナ対策で急に購入することになった物品など変更が多かったが、コロナ対策費などを活用し経理を行うことができた。(差額については、おやつ代等で対応)	施設の運営や事業の実施等保護者の意向も取り上げ、満足度の高いものにしていく。
施設HPアドレス	https://minnanoie.roukyou.gr.jp		2年目	18,460,093円		19,803,497円	正常に運営できている。(差額については、おやつ代等で対応)	子どもを真ん中に据えたまちづくりを目指し、保護者や地域との協同を進める。子どもや親をありのまま受け止め、安心して安全に過ごせる場所、体験を通して一人一人が成長できる場所をみんなで作る。
指定管理者名	労働者協同組合 労協センター事業団		3年目	21,666,274円		28,520,378円	正常に運営できている。(差額については、おやつ代等で対応)	子どもを真ん中に据えたまちづくりを目指し、保護者や地域との協同を進める。子どもや親をありのまま受け止め、安心して安全に過ごせる場所、体験を通して一人一人が成長できる場所をみんなで作る。
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日		4年目	19,383,849円		22,540,723円	指定管理料内で行事などを行うことができた。	児童が安心して安全に過ごせる環境を整える。
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		5年目	23,399,789円		25,863,872円	指定管理料内で行事などを行うことができた。	児童が安心して安全に過ごせる環境を整える。

●総合評価の基準			○その他の項目	
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である	公募・非公募の別	公募
4	☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である	使用料・利用料金制の別	使用料
3	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である	指定管理者による運営開始日	平成21年4月1日
2	☆	評価基準の最も多い評価が☆である	施設の供用開始日	平成9年度
1		評価基準に☆が1以上ある	指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和6年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
昨年度はコロナも落ち着いてきたが行事の数は少なく、子供たちの楽しみは少なかった。今年度は行事数を増やし、コロナ禍では行えなかった遠足などを行っていく。また、障害児加配が2名入るのでより一層、子供たちに寄り添い安心安全な居場所となれるよう工夫していく。		概ね適正な管理運営ができている。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
夏には琵琶湖博物館へ、年度末には栗東のボウリング場へと遠足へ行くことができ、子供たちの楽しい経験になった。保護者交流会も行おうとしたが初めての試みだったのと案内不足のせいか、参加者0人で終わった。障害児加配の児童3名はそれぞれ特徴があり、必要な支援を行った。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務 (1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務 (2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務 (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等) (仕様書 P1.2)				
評価項目 1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	基準に沿った職員配置を行い、安全、安心な保育の実施に努めた。 研修に関しては、市が実施するものに加え、救急救命の研修、事業所で開催した様々な研修にも参加し、職員の意識向上に努めた。	上半期評価	仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置をされていた。独自に救命講習等の現場内研修も実施され、支援員等の資質向上に努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	基準に沿いつつゆとりを持った職員配置を行い、安全、安心な保育の実施に努めた。 研修に関しては、市が実施するものに加え、事業所で開催した様々な研修にも参加し、職員の意識向上に努めた。	下半期評価	仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置をされていた。市が実施する研修にも積極的に参加され、支援員等の資質向上に努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	昨年度と比べ、行事の量を増やし、子供たちに喜んでもらえるよう努力した。個人情報は鍵付きのロッカーに保管している。	上半期評価	工夫され時期に合ったイベントを実施された。また、個人情報についても、鍵付きロッカーに保管し、適正な管理をされていた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	昨年度と比べ、行事の量を増やし、子供たちに喜んでもらえるよう努力した。個人情報は鍵付きのロッカーに保管している。	下半期評価	工夫され時期に合ったイベントを実施された。また、個人情報についても、鍵付きロッカーに保管し、適正な管理をされていた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目 3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月のおたよりの配布、コドモンを活用したお知らせにより家庭への連絡を行った。	上半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられた。従来のおたよりに加え、システムを通じて児童の様子を中心とした事務連絡やイベント予定を周知し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	毎月のおたよりの配布、コドモンを活用したお知らせにより家庭への連絡を行った。また個別面談を実施し、保護者との相互理解に努めた。 2月にアンケートを行い、3月中にできる改善は行った。	下半期評価	毎月のおたよりや共有アプリを使って児童の普段の様子を伝えられていた。また、必要に応じて個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。保護者アンケートは、その内容を支援員間で共有、協議し、児童に寄り添った対応になるよう努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

管理物件の維持保全等に関する業務（保守点検、安全対策等）（仕様書 P3.4）				
評価項目 4	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	2か月に1回実施の日常点検と、消防設備等の法定点検を行った。 怪我の未然防止のため、職員間で危険予知トレーニングを実施し、安全な保育の提供に努めた。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回避難訓練を実施された。 また、職員間で独自のトレーニングを実施し、安全対策に努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	2か月に1回実施の日常点検と、消防設備等の法定点検を行った。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回避難訓練を実施された。 日々の保育ミーティングでは、児童の様子等を共有し、安全な保育が保たれるように努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	